

第2期富谷市教育振興基本計画 第1回策定委員会

日 時 令和4年6月30日 午後3時～午後4時20分

場 所 富谷市役所 3階301会議室

出席者 委員長 吉村 敏之 副委員長 高橋 知美 委員 金田 裕子  
委員 大場 由美 委員 日諸 喜代子 委員 富田 智子  
委員 木村 一也

事務局 富谷市教育委員会教育長 及川 芳彦 教育次長 三浦 敏  
教育部長 相澤 美和 学校教育課長 今野 善徳  
生涯学習課長 菊地 宏修 教育総務課長 千葉 正俊  
教育総務課長補佐 坂爪 道子 教育総務課主幹 高橋 凡子

次 第

- 1 委嘱状交付
- 2 開 会
- 3 挨拶 富谷市教育委員会 教育長 及川 芳彦
- 4 委員紹介及び事務局紹介
- 5 委員長・副委員長選任
- 6 協 議
  - (1) 教育振興基本計画の概要説明及び達成状況報告
  - (2) 今後のスケジュール・策定の進め方について
  - (3) アンケートについて
- 7 その他
- 8 閉 会

---

【相澤部長】 本日はお忙しいところ、またお暑い中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。開会に先立ちまして、第2期富谷市教育振興基本計画策定委員の委嘱状交付を執り行います。及川教育長より委嘱状を交付いたします。お一人ずつお名前をお呼びいたしますので、前のほうにお進みいただきたいと思います。

委嘱状交付（省略）

これもちまして、委嘱状交付を終了いたします。

【相澤部長】 ただいまより、第2期富谷市教育振興基本計画第1回策定委員会を開会いたします。はじめに、富谷市教育委員会 教育長 及川芳彦よりご挨拶を申し上げます。

【教育長】 第2期富谷市教育振興基本計画第1回策定委員会の開催にあたりまして、挨拶を申し述べさせていただきます。ただいま、委嘱状を交付させていただきましたが、改めまして、それぞれのお立場で大変お忙しい中、策定委員をお引き受けいただきましたことに、心より感謝申し上げます。また、統計開始後、最も早い東北南部の梅雨明けが発表され、まさ

に酷暑の中、ご参集いただきましたことにも感謝申し上げます。

さて、本市では平成29年度に、平成30年度を初年度とする5か年の第1期富谷市教育振興基本計画を策定しました。本年度が最終年度となることから、来年度からの5か年計画を作成するものです。この5年間、本市の教育理念に基づきまして、様々な施策に取り組んでまいりました。その取り組み、それぞれの達成度評価につきましては、のちほど担当から説明がございます。これまでの5年間に、年々社会が変化する速度が速まり、さらには、ここに来て新型コロナウイルスの出現により変化する速度に拍車がかかっております。このような国内外の現状、時代の流れをしっかりと視野に入れ、新たな第2期富谷市教育振興基本計画を策定し、国内外で活躍する人材の育成、生涯学習の総合的な教育施策の推進に努めていかなければなりません。策定に際しまして、改めて委員の皆様にお力添えを賜りますことをお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 委員及び事務局各々挨拶(省略)

**【相澤部長】** 本日の策定委員会は、委員7名の皆様全員のご出席でございますので、富谷市教育振興基本計画策定委員会条例第5条第2項の規定により会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

続きまして、委員長、副委員長の選出に移ります。富谷市教育振興基本計画策定委員会条例第5条第1項の規定により、委員長が議長となることとされていますが、委員長の選任がこれからでございますので仮議長として及川教育長に務めていただきたいと考えますが、皆様よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶものあり)

**【及川教育長】** それでは、委員長が決まるまで暫時、仮議長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。着座にて進めさせていただきます。委員長選任でございますが、富谷市教育振興基本計画策定委員会条例第4条第1項の規定により、委員の互選により定めるものとなっておりますが、どなたかご意見ございますでしょうか。事務局案がございましたら事務局のほうからお願いしてよろしいでしょうか。では事務局案をよろしく申し上げます。

**【千葉課長】** それでは、事務局案といたしまして、委員長に吉村委員を推薦いたしたいと思っております。

**【及川教育長】** ただいま、事務局から吉村敏之委員に委員長をお願いしたいという話がありました。皆様いかがでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

それでは異議なしという声もございましたので、吉村委員に委員長をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

**【吉村委員長】** よろしくお願いたします。

**【相澤部長】** 教育長、ありがとうございました。それでは、吉村委員、前のほうにお願いいたします。議長からご挨拶の後、進行のほうをお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

**【議長】** 議長という大役を頂戴しましたがけれども、素晴らしい委員のみなさん、そして事務局の皆さまのお力を借りて、これからの富谷市の将来の教育を開く仕事をさせていただきます。

たいと思います。どうぞよろしくお願いいいたします。

それでは、さっそく議事を進めさせていただきます。続きまして、副委員長を選任ということになってございます。副委員長を選任につきましても委員の互選により定めるとされております。どなたかご意見ございますでしょうか。

それでは、お声がないようでございますので事務局案を提示させていただいてもよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【議長】ありがとうございます。それでは、事務局よりご提案よろしくお願いいいたします。

【千葉課長】事務局案といたしまして、副委員長に高橋知美委員を推薦いたすものでございます。

【議長】それでは、事務局案として高橋知美委員のご推薦がありました。いかがでございましょうか。

(「異議なし」との声あり)

【議長】それでは、副委員長は高橋知美委員にお願いいたします。高橋委員、よろしいでしょうか。

【高橋委員】はい。

【議長】それでは、どうぞよろしくお願いいいたします。高橋副委員長のほうから一言ご挨拶をよろしくお願いいいたします。

【高橋委員】恐縮ですけれども、副委員長に指名いただきましたので、委員長のサポートを頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいいたします。

【議長】どうぞよろしくお願いいいたします。それでは、これから協議に入りますが、その前に委員の皆様にお諮りしたいことがございます。本策定委員会の会議の傍聴、会議資料及び会議録について、公開するというところで了承をお願いいたしたいのですが、いかがででしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

【議長】それでは、異議がございませんでしたので、今後、会議の傍聴及び会議録の閲覧希望があった場合には公開するということにいたします。

それでは協議に入ります。教育振興基本計画の概要説明及び達成状況報告について、事務局より説明をお願いします。

【千葉課長】それでは、よろしくお願いいいたします。教育振興基本計画の概要説明および達成状況報告につきまして、お手元の資料1-1によりご説明をさせていただきたいと思えます。着座にて説明させていただきます。

まず、表紙をご覧ください。第2期富谷市教育振興基本計画の策定方針案といたしまして、内容の確認や協議を行い最終計画の決定に向けた審議をお願いするものでございます。

なお、これから説明をいたします資料のデータ等については現時点のものでございますので、今後最新のデータに更新する場合がございますので、予めご了承いただきたいと思います。

います。それでは、1ページをお願いいたします。

第1章の計画の基本事項、1-1 計画策定の趣旨でございます。

本市では「住みたい」「住んでよかった」と思ってもらえるまちを目指し、『住みたくなるまち日本一 ～100年間ひとが増え続けるまち 村から町へ 町から市へ～』という将来像を定め、新たなまちづくりを進めております。世界的には経済活動、環境問題、IT化と社会情勢が変化、加速する一方で、わが国の未来には人口減少と高齢化という現実が待ち構えています。

国内外の時代潮流を視野に入れつつ、本市が目指す将来像に向かって力強い歩みを進めるために、まちづくりの礎となる国内外で活躍する人材の育成、生涯学習の総合的な教育施策の推進が求められています。

こうした認識に立ち、平成30年3月に教育振興に向けた施策を総合的・計画的に進めるために、地域の実情に応じた基本的な計画である「富谷市教育振興基本計画」を策定し、本市の教育振興の取り組みを推進してきました。こうした中、第1期計画が令和4年度末に終了することから、令和5年度を計画初年とする第2期富谷市教育振興基本計画を策定するものでございます。本計画では、少子高齢化・人口減少の進行、SDGs実現の取組、グローバル化やICTの普及・発展など、今後予想される教育を取り巻く社会の動向等を踏まえ、今後5年間に取り組む本市の教育の基本目標と施策の体系について示すものでございます。

では、2ページをお願いいたします。こちらは計画の位置付けとなっております。中段にイメージ図がございますが、本計画は、教育基本法に基づく「市町村教育振興基本計画」と、法令に基づく「教育大綱」に該当するもので、富谷市総合計画の分野別計画として教育施策のマスタープランに位置付けられております。また、本計画は、関連法令、及び国の「第4期教育振興基本計画」、宮城県の「第2期宮城県教育振興基本計画」、本市の諸施策との連動を図りながら、実効性の高い教育施策を推進いたします。

次に、3ページをお願いいたします。計画期間ですが、令和5年度を初年度として令和9年度までの5年間としております。計画の進捗状況や社会動向の変化があった場合は必要に応じて見直しを図ってまいります。

4ページをお願いいたします。計画の策定体制の策定組織といたしましては3つの組織がございます。

まず、①市教育委員会です。本計画の決定機関として、計画策定委員会の提案に基づき、総合教育会議及び議会の意見を踏まえて、本計画を決定するものでございます。次に②富谷市教育振興基本計画策定委員会、こちらは本計画の審議機関となっております。学識経験者、PTA、学校教育、社会教育、企業関係者で構成します。市教育委員会から依頼を受け、計画の策定方法や計画内容、推進体制といった計画全般にわたる検討と取りまとめを行い、市教育委員会に計画案として提案いたします。③市民、PTA、教育機関、関係団体、こちらは有識者等本計画を推進する主体者、協力者として、計画策定委員会に委員として参加するとともに、アンケート、パブリックコメント等を通じて計画全般への意見をいただくものでございます。

次に、5ページをお願いいたします。アンケートによる意見収集ですが、対象者を4つの種別で区分しております。児童生徒を対象に小学生5学年約260名、中学生1学年及び3学年約340名、合計約600名。市民を対象に16歳以上の1,400名、PTA・地域活動団体・関係者を対象に約10～20団体を想定、教職員を対象に約70名か

らのアンケート調査を行う予定としています。

次に、6ページをお願いします。こちらは計画策定ステップでございます。Step1から6のうち1から3までは現況調査やアンケート調査などの基礎調査を行います。次に、Step4、5についてはそれまでの調査を元に計画の立案、パブリックコメントを経てとりまとめを行い、計画決定という手順を進めてまいりたいと考えております。スケジュールの変更等が必要となった場合はその都度委員の皆様にお返ししながら進めてまいりたいと考えております。次に7ページから13ページにかけては国と県の動きを掲載しておりますので、大まかな概要を説明させていただきます。

まず、7ページの計画の背景（国、県の動き）、教育基本法の改正といたしましては平成18年、教育基本法が約60年ぶりに改正され、参考としてその抜粋を掲載しておりますのでご覧いただきたいと思います。

次に、8ページをお願いします。国の教育指針といたしましては、現在、国の第3期教育振興基本計画による取組が進められており、令和5年度からは、第4期計画に基づいて取り組む見通しとなっております。参考として、今年2月に文部科学省の諮問機関である中央教育審議会に諮問された概要を掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。

次に、9ページをお願いします。教育改革の取り組みといたしましては、平成27年に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、今日の教育委員会の体制に至っております。法律の掲載を抜粋しておりますのでご覧いただければと思います。

次に、10ページをお願いいたします。平成25年に、いじめ問題、教育委員会制度の在り方について内閣総理大臣が開催する教育再生実行会議が発足いたしました。その後、令和3年12月に高校教育を始めとする教育の在り方や、誰もが生涯にわたって学べるよう、教育と社会との接続の多様化・柔軟化を目的とした教育未来創造会議に引き継がれました。これまでに開催された会議の13の提言を掲載してございますのでご覧いただければと思います。

次に、11ページをお願いいたします。スポーツ立国の実現といたしましては、平成23年度にスポーツ基本法が公布・施行され、平成29年度からは第2期スポーツ基本計画による取り組みが進められてきました。また、第3期スポーツ基本計画では、東京オリンピック・パラリンピックのレガシーの発展に向けて取り組むべき「新たな3つの視点」の具体的な施策を示しておりますのでご覧いただければと思います。

次に、12ページをお願いいたします。文化芸術といたしましては、文化芸術基本法が改正され、新たに「文化芸術推進基本計画」が策定されております。参考までにその概要を掲載しておりますのでご覧いただければと思います。

次に、13ページをお願いいたします。宮城県の教育施策といたしまして「第2期宮城県教育振興基本計画」平成29年度～令和8年度を計画期間とし、教育施策が進められております。施策の全体系について掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。

次に、14ページをお願いいたします。ここからは、本市の教育施策について掲載しております。教育体制といたしましては、平成27年度に総合教育会議の設置と、教育大綱の策定をいたしました。また、平成30年度から令和4年度までを計画期間とする「富谷市教育振興基本計画」を策定し、教育振興に向けた施策を進めてまいりました。さらに、教育委員会の事務事業に関する内部評価と外部評価による点検及び評価を毎年度実施し

ており、この評価を踏まえ「富谷市教育基本方針及び重点方針」を毎年度策定し、制度や環境の変化への適切な対応と教育施策の継続性を確保しております。令和4年度の富谷市教育基本方針を掲載しておりますのでご覧ください。

次に、15ページをお願いいたします。本計画の範囲といたしましては、本市の教育施策は、「富谷市総合計画」の将来像を実現する4本柱の中で「暮らしを自慢できるまち」では「住み心地の良さを実感できる豊かなまちづくり」、「教育と子育て環境を誇るまち！」では、創造性豊かな教育環境、あらゆる世代の生涯学習、伝統文化の未来への継承を具体的に推進することを目指しています。

16ページをお願いいたします。本市では、日本ユニセフ協会から「子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）、検証作業モデル自治体」の委嘱を受けまして、平成30年11月に「富谷市子どもにやさしいまちづくり」の推進を宣言し、子どもの権利条約に基づき、5つの柱を基本とした取組を実施しております。本市総合計画の後期基本計画には、子どもにやさしいまちづくり事業の視点が追加され、職員の意識醸成を図るとともに、「わくわく子どもミーティング」を開催し、子どもたちの意見を行政に反映することを心掛け、子どもに関わる施策・事業の継続を推進してまいります。

では、ここでお手元のほうにお配りしてございます、第1期富谷市教育振興基本計画の冊子をご準備いただきたいと思っております。この中で1ページから15ページまでの内容について更新したものを、ただいま第2期計画の策定方針案といたしまして、皆様にご説明させていただいたところでございます。

また、16ページから25ページまでの本市の教育にかかわる現状、それから26ページから30ページまでの第2章、教育基本方針の教育理念、基本目標と施策体系、それから31ページ以降になります第3章の推進施策による各事業の具体的な内容につきましては、次回以降の策定委員会において説明する予定としておりますのでよろしく願い申し上げます。

続きまして、資料の1-2をご覧くださいと思います。A3の縦版のものでございます。こちらにつきましては基本目標・施策の達成度状況一覧となっております。ここ5年間の推進施策の達成につきまして掲載しております。この中で主なものについて報告させていただきたいと思っております。見方といたしまして上のほうに項目がございますが、施策、5年間の推進施策、重点事業、達成度の順に読み上げて参りたいと思っております。1-1 幼児教育の充実でございますが、④子育て家庭への支援の充実としまして上の段、子育て家庭への教育支援に向けたあり方の検討といったところで、こちらにつきましては右の達成度の欄、幼児教育保育の無償化ということでございます。

その下の利用ニーズに対する預かり保育の実施ということで、預かり保育の無償化といったところでございます。こちらは令和元年度から無償化が開始されているといったものになります。次に項目の5年間の推進施策のところ⑤として公立幼稚園・私立幼稚園の役割の確立、幼稚園運営審議会の答申の実行として達成度は東向陽台幼稚園の民営化となっております。こちらにつきましては東向陽台幼稚園は令和3年3月をもって廃止され、現在、令和5年4月の認定こども園の開園に向けて準備が進められているといったものになります。

次に、施策のところ⑧としまして、いじめの未然防止と早期解決の体制の充実といったものの3つ項目がございますが、その一番上の、学校、保護者、地域が一体になったいじめ防止の取り組み、この達成度につきましては、いじめ問題対策連絡協議会の開催といったこととなります。その2つ下になります、いじめの未然防止に向け児童・生徒同士による取り組み、こちらは達成度のところ、中学生生徒会サミットの開催ということで達成状況を記載してございます。その

下の⑨不登校対策への組織的な推進といたしまして、子どもの心のケアハウスの整備といったものの右側の達成度のところ、こちら令和4年4月に不登校特例校西成田教室の開設といったものがあげられます。下に向かいますと1-8快適・安全・安心な教育環境の整備といったものが施策のところに記載がございます。その①といたしまして教育施設・整備の計画的整備につきましては、児童・生徒が安心して学ぶための小・中学校施設の計画的な整備、達成度のところに学校施設長寿命化計画策定といったところで、こちら令和3年3月をもって策定が終了してございます。

それから、③としまして教材・教具・教育資料の整備として、ICT機器の計画的な整備といったところで、達成度のところに一人一台端末の配備といったものがございます。こちらは令和2年度中に配備が完了しています。それから2-2のところ、公民館活動の充実としまして②公民館の拠点機能の向上として、施設の長寿命化計画の調査・策定、達成度には社会教育施設長寿命化計画策定としてございます。こちらにつきましては令和4年6月をもって策定が完了といったところでございます。

それから4-1のところ、生涯スポーツを楽しむ機会の充実としまして③みるスポーツ、支えるスポーツの普及とあり、プロスポーツの練習場の誘致といたしまして達成度にはリガーレとの連携協定といったものがあげられます。一番下段のところ、4-3生涯スポーツを支える体制・環境の充実としまして②生涯スポーツを支える体制の充実があり、こちらにつきましては富谷市スポーツ推進計画の策定といったものがございまして、達成度に記載しております。達成状況については主なものということでピックアップさせていただきご説明をいたしたところでございます。協議(1)につきましては以上となっております。どうぞよろしく願いいたします。

**【議長】** ありがとうございます。事務局のほうから、こちらの1期の冊子でいいますと、1ページから15ページにあたるころの計画の基本事項について、今度は第2期ということで全体の枠組みとしてのご提案がございました。それから続きまして第1期の達成状況についてのポイントについてご説明がございました。ご意見、ご質問をお願いしたいのですけれどもいかがでございましょうか。枠組みのところは基本的なご案内というところですし、アンケートについては次の(3)で中身の問題に入ります。

7ページから13ページまでは国と県の動きということで、14ページにあたりますところが教育の施策です。今度は、令和4年度の富谷市の教育基本方針というのがございます。それから本計画の範囲ということで総合計画の中での一部ということです。

それから、アンケートでかかわってくると思うのですけれども、資料1-2で、達成状況について事務局から説明されました。それ以外のところでご質問等あればお願いしたいのですが、いかがでございましょうか。

非常に素晴らしい達成ということで成果を上げてもらっている感じでございます。それでは、続きまして(2)の今後のスケジュール、策定の進め方について事務局より説明をお願いします。

**【千葉課長】** それでは、資料2をご用意いただきたいと思っております。こちらにつきましては、策定委員会のスケジュールとなっております。全部で4回の開催を予定しております。まず、本日の第1回策定委員会から第2回策定委員会までの間に、アンケート調査票の案を委員の皆様へ後日送付させていただきます。そしてご意見を頂戴した内容を元に見直しを図り、アンケート調査票を決定させていただければと思っております。併せて現行事業状況調査、各課ヒアリングについても実施する予定です。7月下旬の第2回策定委員会におきましては現行事業状況調査の結果報告を行います。また、様々な課題を踏まえて、教

育の方向性の検討について協議をいただくこととしてございます。その後8月においてアンケート調査を実施し、集計分析、計画原案の立案を行ってまいります。次に10月上旬の第3回策定委員会では、アンケートの結果報告、計画中間案について協議をいただく予定としてございます。その後、10月下旬にかけまして計画中間案に対するパブリックコメントを実施し、11月の第4回策定委員会ではパブリックコメント結果報告、計画最終案の協議、決定といった運びとなっております。11月下旬にかけまして総合教育会議、教育委員会会議に上程し、年明けには市議会に報告させていただく予定としてございます。スケジュールの内容といたしましては以上となります。どうぞよろしくお願いいたします。

**【議長】** ありがとうございます。資料2に基づきましてスケジュールのご説明がありましたが、ご意見ご質問ございますでしょうか。4回の策定委員会を経て作るということでございます。それでは続きまして(3)アンケートについて事務局より説明をお願いいたします。

**【坂爪補佐】** それでは、説明させていただきます。着座にて失礼します。

先ほどの説明と重なっていくのですが、資料1-1の5ページ、アンケートによる意見収集といたしまして4種類実施する予定でございます。市民の教育に対する意識、教育関係の各主体の意向やニーズを把握して施策への反映を行います。

児童・生徒アンケートにつきましては、前回計画の時にはなかったものでしたが、16ページ、ユニセフの子どもの権利条約で子どもの意見を尊重するということもあり、児童、生徒にもアンケートをとるという形をとっております。小学生、中学生合計600名、調査のねらいとしては、学校・父兄・地域での生活の様子や学習に対する意識等を把握し立案、運営に反映するものでございます。市民アンケートのほうでは、前回保護者アンケートを行っているのですが、今回市民アンケートの中に保護者アンケートの方もあわせて入れ込んでおります。こちらは全体的に生涯学習、芸術、文化、スポーツ活動の意向等を把握し、子育て世帯につきましては子どもの教育への支援や期待の把握をし、こちらも政策立案の方に反映してまいります。

続きまして、PTA・地域活動団体、関係者アンケートというところでは、個人の場合と、団体の場合で質問を2種類用意しております。こちらについては教育・学習を支える主体の意向を伺うもので、活動をしている上での課題や教育施策への期待などを把握し、教育委員会の役割にも反映させていくものです。

次に、教職員アンケートですが、幼稚園、富谷幼稚園の園長や小中学校の校長、教頭、指導主任、特別支援教育担当、カウンセラーの方にアンケートを行っていきたいと思っております。教育を実践する主体側の意向調査というところで、実際に入園してみてもいいのか、専門分野での課題はどんなものなのか、改善点はどこにあるのかといったところで、政策、立案の方に反映させていきたいと思っております。

資料2、スケジュールのほうをご覧ください。お手元のほうにお配りしている資料3の市民アンケート、こちらはまだサンプル的なものになります。現在、アンケート調査票については関係各課のほうで大きく4種類、全部で6パターンあるのですが、こちらで確認と検討を進めているところです。まとまりましたらアンケート調査票を委員の皆様へ7月中旬ぐらいを目途に、送付させていただきたいと思っております。修正点や意見、気になる点などありましたら赤文字などで記入いただき、返信用封筒で返信いただければというところで考えております。スケジュールのつまった時間のない中であるため、いただいたご意見等につきましては、こちらで検討させていただき、集約して出来上がりましたアンケートについては吉村委員長にご覧いただきまして決めさせていただければと考えております。

完成したアンケートについては7月から8月上旬に発送準備を行いまして8月中旬に実

施をかけていく予定です。アンケート回答がこちらに集まり次第、業者の方に集計分析を行っていただき、その中でどういった課題が見うけられたか10月の策定委員会の時にお示しできればと考えております。

7月中旬ころ、出来上がった各種アンケート調査票を委員の皆様にご送らせていただくこととなりますので、お忙しい中と存じますが、よろしく願いいたします。

市民アンケートのサンプルをお渡ししておりますが、現段階で出来上がっている素案となります。内容につきましては、概要版の方で見ただけとお分かりになると思いますが、基本目標は大きく4つございます。基本目標1、22世紀の礎を築く、富谷の学校教育、次のページに基本目標2、循環型生涯学習社会の推進、基本目標3、芸術・文化の継承、創造、文化の保護・活用、基本目標4、生涯スポーツの推進となっております。

こちらの基本目標に基づき、この項目がつくられている状況です。中を開いていただきまして、素案ではありますが、市民アンケートの場合、まず、ご本人の確認などがあり、開いていただいて3ページ目に生涯学習について尋ね、さらに7ページ目で、今度は芸術・文化、基本目標3について尋ねていくこととなります。10ページでは、運動・スポーツについてというところで生涯スポーツについて尋ねるものとなっております。

最後に13ページ、子供の教育についてというところで、第1期の時は単独の保護者アンケートでしたが、今回はこの市民アンケートの中に組み込んだ形で保護者の方々に尋ねる形となっております、基本目標に基づいた構成となっております。児童生徒、教職員、また関係団体、関係者については、それぞれの立場におかれまして尋ねるアンケート内容となります。児童生徒については学校生活や家庭地域生活、また教職員の方々には学校の中でのこと、関係団体についてはその団体の中で行われている内容などについて尋ねるアンケートとなっております。以上です。よろしく願いいたします。

**【議長】** どうもありがとうございました。

これから策定にあたりまして、ご説明いただきましたアンケートが非常に重要になってきます。種別は児童生徒アンケート、市民アンケート、PTA・地域活動団体・関係者アンケート、教職員アンケートの4種類ございますが、資料の3として出てきている今回素案として市民向けのアンケートは、広く市民からご意見を聞くという非常に大事なものでございます。これについて、ご意見ご質問頂戴したいのですが、いかがでしょうか。

**【富田委員】** いいですか。

**【議長】** はい、お願いします。

**【富田委員】** 案に関して、内容について特に意見はなく、計画に沿った内容でいいと思いますが、紙ではないやり方で何か考えられたりはしていないですか。

**【議長】** なるほど、確かにそうですね。

**【富田委員】** やはり、DXとかよく言いますが、多分手に取って回答する人の年齢層はある程度決まってくるかと思うんです。

**【議長】** ええ。

**【富田委員】** たくさん声を聞きたいというときに、紙ツールのみではなく、QRコードがあってそれを読み取るというように、他にもやり方があるのかなと思います。郵便局に持って行く手間よりは、スマホでできるといったやり方があるのもいいかなと思いました。

**【議長】** ありがとうございます。確かに、大学もコロナ禍で、紙媒体省略で電子化デジタル化がかなり進んでおります。アンケートそもそもの内容以前に、より多くの市民の方の意

見を反映するために、デジタル活用はどうかという大変貴重なご意見をありがとうございました。素案という段階で大変申し訳ないのですが、暑い中ご足労いただいたところなので、今、富田委員から幅広く意見を頂戴したいとのご提案がございましたので、中身についてもこういうことで市民の方の声を拾うといいのではないかとご意見を頂戴したいのですが、木村委員いかがでしょうか。

【木村委員】別件で気仙沼の方に伺っていた時に、LINEで奨学金をもらっている大学生の方を支援するという授業を受けまして、LINE登録をしてもらいLINE上で質問項目を送っていただいて申請すると、メリットとして市の伝えたい情報をアンケートに答えてくれた人に、もれなくお伝えできるというメリットがありました。今回1,400名の方にせっかくアンケートをするのなら、例えば、熊が出ましたといった情報などを、逆に富谷市から提供していただけるというような活用方法を考えてもいいのかなと思います。

【議長】双方向的なLINE活用ということで、木村委員ありがとうございました。それでは、日諸委員いかがでしょうか。社会教育、福祉、子育て、広いご視点からこんな方法なら集まる、あるいはこんな内容を聞いてほしいといったご意見を頂戴したいのですが。

【日諸委員】私も、別の子ども子育て委員会でアンケートを一度収集したことがありました。その時もやはり立派なアンケートを時間かけて作っても、せっかくこんないいことを聞いて、お伝えしたい人もいっぱいいたとしても、回収する方法で、それが市の方に届いていないという実情が結果的に生まれますので、お話を伺ってなるほどと思いました。私も携帯で富谷市の情報をメールで見ますが、やはり今は若いお母さんたちは常にスマホですから、スマホといったようなツールで、もっと多くの情報が寄せられれば、私たちもこれからより多くの人の声を聞いて反映できるかと思いました。方法についてプロの方に色々ご意見をお聞きして、本当に困っていらっしゃる方、本当に届けたいという方はいっぱいいると思うので、そういう方の声を少しでも吸い上げて反映できたらと思いました。

【議長】はい、また是非、日諸委員よろしく願いいたします。大場委員いかがでしょうか。

【大場委員】私はPTAなので、どうしても子どもに関してみてしまうのですが。

【議長】ええ、是非そういう視点でよろしく願いします。

【大場委員】やはりご両親働いている方が多く、PTAもうちの学校は比較的多くみなさんに毎年参加していただけるのですが、富谷市は首都圏の方から入って来られる方とかいらして、向こうの方ではPTAもなくなってきている様な現状があるようです。

【議長】そうですね。首都圏はPTA廃止とか聞きますね。

【大場委員】そのあたりのみなさんの意識が、実際どうやったらやりやすいのかとか、自分がもし参加するのであればどういう文章にするのがいいのかとか、今実際PTAをやっていて、やはり忙しいからできませんとか言う方も中にはいらっしゃるんで、アンケートでそういう意見なども聞けたらいいのかなと思いました。

【議長】ありがとうございました。6ページ問14などで地域の小・中学校に関わるボランティア的な活動というところでPTA活動含むとありましたけれども、ボランティアはどんなのかなというところもあります。PTAとなると子育てとかなり関わるので、ご検討いただければと思っております。もしかすると5の子どもの教育についても関わってくるかと思います。首都圏ではPTAをわりとネガティブに捉えているけれども、それでいいのかなと個人的に疑問に感じる場所があります。PTAのそもそもの役割は保護者と

教師、学校が一体となって子どもを育てていく非常に大事なことではないだろうかと思えます。富谷市の場合、まさに力を合わせて学び合い尊び合いということですので、是非PTAの力を引き出すということで、ご検討お願いしたいと思えます。

金田委員いかがでしょうか。

【金田委員】これまで委員の方々がおっしゃっていたように、回答しやすさというかアクセスについては、検討していただけると良いのだろうなと思って聞いておりました。それから私の関心としましては、子どもの教育についていろいろな地域の取り組みを聞いているんですが、15、16ページのあたりで、お子さんが通う小・中学校において期待することと、実際に身につけていることについて質問として入っていますが、大きな目標として、学び合うとか尊び合うといったようなことがあがっているので、そうしたところを聞けるような項目が入ってくると、富谷市で力を入れているところに、どんなふうに地域や保護者の人たちに響いているのか聞けるのではないかと思います、見ていたところです。

【議長】ありがとうございます。学校教育も特に新しい指導要領では、保護者、地域が一体となって社会に開かれた教育課程で教育を進めていますので、金田先生のご意見に合わせるといいなと思えました。高橋副委員長さん、いかがでしょうか。学校教育の立場から市民のこういったことを聞きたいということで、ご意見よろしくをお願いします。

【高橋副委員長】アンケートの中で小学校と中学校については比較的アンケートは取り易いかなと感じていたのですが、幼、小、中というところで考えたときに、幼稚園の、つまり就学前の子供たちのニーズというのをどう捉えるのか、なかなか小さな子どもに聞くことは難しいので、例えば保護者にもう少し焦点をあてて、もちろん市民アンケートの中でとることも可能だとは思いますが、例えば親の会というようなところで、幼稚園の学習指導要領だと最近では子供が身につける、子供をどう育てていくべきかという具体的な目標も設定されているので、そういうところに触れながらどのように育成されているのかというのも保護者に見てもらい、こんなふうになっているというのを、幼児の代わりにアンケートの項目の中で参加できるようにしてもいいのかなと思えました。

【議長】ありがとうございます。高橋委員からありました、小さいときのいわゆる知育の基礎が情操とか非認知能力といわれ、非常に重要視されています。文科省も幼保小接続に力を入れ、架け橋プランのモデル地域として、宮城県では白石市が採択されたと伺っています。これからの若い活力を育てる富谷市でしたら、幼・小接続ということで、特に0歳から18歳まで繋いでいくという今、幼児期に育ててほしい10の姿として提示されている、子供の自由な姿を意識して保育と小学校教育を繋いでいってほしいです。幼保小接続で特に幼児期の姿に光が当てられること、一方で、先ほど日諸委員が若い保護者の声を拾いたいとの意見がありましたが、子育てで本当に悩んでいる方も多いため、意見が反映されるとよろしいのかなと思えました。貴重な意見を頂戴できました。

それでは、終わりに次第7のその他に移りますが、何かございますか。

【千葉課長】はい。

【議長】では、事務局からお願いいたします。

【千葉課長】はい、次回の第2回策定委員会の日程について、先日、日程調整させていただいたところではございますが、7月28日、木曜日、午後3時からの開催としたいと思えますが、よろしいでしょうか。

【議長】はい。

【千葉課長】 それでは、この日程で後日開催通知を送付させていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

【議長】 それでは、ご多用のところですがけれども7月28日、木曜日、午後3時よりご出席をお願いいたします。議事進行につきましては終了いたしますので事務局にお戻しいたします。どうぞよろしく願いいたします。

【相澤部長】 議長、長い時間大変ありがとうございました。それでは、閉会にあたりまして、高橋副委員長よりご挨拶をお願いしたいと思います。

【高橋副委員長】 本日は、ありがとうございました。富谷市の住みたくなるまち、これは子供たちがそれを支える、スタートになる子供たちが笑顔でそして確かな学力をもっていく、そしてここからやはり国内外に富谷の教育、文化を背負って出てほしいなど心の底から改めて今日この委員会に参加させていただいて思いました。これから子供たちがどんな風に育っていくのか、私も今から学校に戻り、改めて学校教育の現場からこの思いを伝えていきたいと思いましたが、来年度からスタートするこの基本計画をより良いものにしていかなくてはならないと思いましたが。また来月、より良い内容になるよう力を合わせ我々も連携しながらやっていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

【相澤部長】 ありがとうございました。次回は7月28日、午後3時ということで、また皆さまのお力をお借りしたいと思います。よろしく願い申し上げます。以上を持ちまして、第2期富谷市教育振興基本計画第1回策定委員会を終了します。皆さまお疲れ様でした。